

3-1 都心・周辺市街地景観

(1) 都心・周辺市街地景観の特性

堺が市制をしいた、明治 22 年の市域を中心とする本市の都心と、その周辺の市街地からなる地域です。都心地域は明治 31 年に高野鉄道（現・南海高野線）の大小路駅（現・堺東駅）が開業して以来、本市の中心街として発展してきました。

またその周辺では、百舌鳥古墳群の周囲や、かつて紀州街道沿いに集落が点在していた地域において、鉄道の開通に伴う住宅地開発、耕地整理が進められました。

堺東駅と堺駅を結ぶ大小路筋や、路面電車の走る大道筋、戦災復興のシンボルとなるフェニックスが植えられたフェニックス通り、修復された現存する日本最古の木造洋式燈台がシンボルとなっている堺旧港などが位置し、本市の都市イメージを代表する地域です。



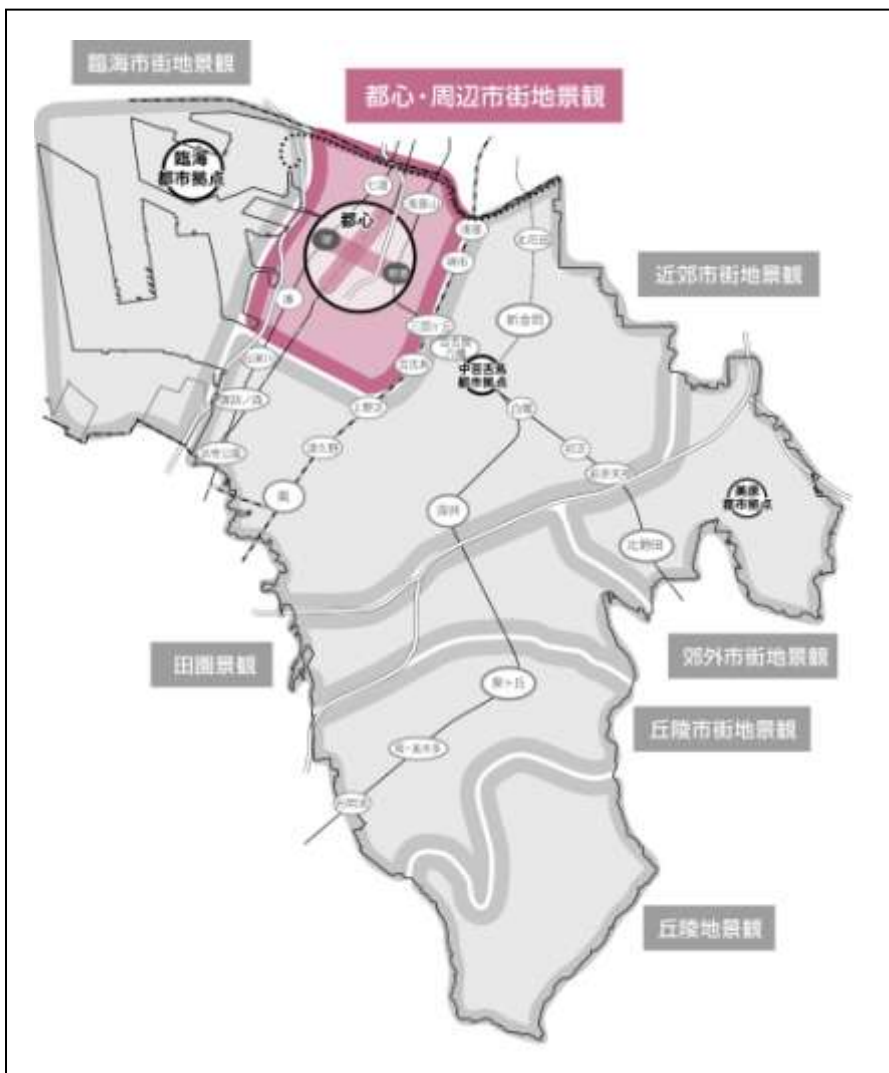
堺東駅前



百舌鳥古墳群



大小路筋



1) 自然から見た景観特性

- ・長い時間をかけて、海岸線に沿った形で土砂が堆積し平坦な地形を形成しました。
- ・環濠都市の面影を残す、内川・土居川が位置しており、堺旧港付近は親水空間として整備され、自然を感じられる憩いの空間が形成されています。
- ・北部には大和川が流れ、広がりのある貴重なオープンスペースとなっています。



内川の親水空間

2) 歴史・文化から見た景観特性

- ・堺環濠都市地域は堺の中心部として室町時代から戦国時代にかけて貿易で栄えた市街地です。大坂夏の陣(1615年)で消失し、その後江戸幕府により復興が行われ、その当時の町割、まちなみが今日に引き継がれています。
- ・堺環濠都市地域の周辺部は農村地帯が中心で、条里遺構も見られ、方形のため池が多く立地していました。
- ・百舌鳥古墳群のうちの百舌鳥三陵(仁徳天皇陵古墳、履中天皇陵古墳、反正天皇陵古墳)が位置し、古墳の豊かな緑と周辺の濠が、緑豊かな住宅地と一体となって自然あふれる景観を形成しています。また、仁徳天皇陵古墳と履中天皇陵古墳に隣接して大仙公園が整備され、人々の憩いの空間となっています。
- ・南北に貫通する紀州街道(大道筋)が、この地域と大阪方面や泉南方面とを結び、また東に延びる長尾街道や竹内街道の起点となるなど、かつてより人々の交流や交通・物流などの結節点として機能していました。
- ・各街道の沿道には古くから集落が形成されていました。現在でも各所に点在する古い家屋がヒューマンスケールの沿道景観を形成し、当時の面影を今に伝えています。
- ・西本願寺堺別院、開口神社、南宗寺などの社寺が多く集積しています。
- ・北旅籠町などの堺環濠都市地域北部には、戦災を免れた寺院や伝統的様式の町家が点在しています。
- ・北部には自転車や刃物などの伝統産業の工場が多く立地し、職住が一体となった景観が形成されてきました。



堺旧港



鉄砲鍛冶屋敷



履中天皇陵古墳



開口神社

3) 市街地形成の経緯から見た景観特性

- ・ 明治 21 年に阪堺鉄道(現・南海本線)、明治 31 年には高野鉄道(現・南海高野線)が開通しました。さらに明治 44 年には阪堺電気軌道、昭和 4 年に阪和電気鉄道(現・JR 阪和線)が開通し、鉄道の敷設とともに耕地整理などが進められ市街地が拡大しました。
- ・ 都心は、第二次世界大戦末期から高度経済成長期にかけて大きく変貌を遂げました。戦災からの復興のため土地区画整理事業が行われ、東と北の環濠は埋め立てられ道路に変わりました。また交通網の整備に伴い堺の中心地は環濠内から市街化が著しい堺東駅前へと移りました。



古墳周辺の風致地区



けやき通り



- | | |
|-----------------|------------------------|
| ① 都心 | ④ 浅香山町・田出井町・香ヶ丘町周辺 |
| ② 三宝町・海山町・緑町周辺 | ⑤ 南三国ヶ丘町・百舌鳥夕雲町・大仙中町周辺 |
| ③ 西湊町・東湊町・出島町周辺 | |

ア) 拠点(駅前等)

○堺東駅周辺

- ・堺東駅前には、業務・公共施設が集まるビジネス街、回遊できる商業空間が特徴です。
- ・アーケードのかかる商店街が位置するとともに、多数の商業・業務施設が集積しており、また、駅前には交通広場が整備されていることから、数多くの人が行き交うにぎわいのある景観が形成され限界性を醸し出していますが、ビルの前面や屋上には多数の屋外広告物が乱雑に掲出されています。
- ・市役所高層館展望ロビーは、百舌鳥古墳群をはじめとする市内の景観を眺望することができるスポットとなっています。
- ・市街地再開発事業により駅前広場や歩行者デッキなどの公共施設が整備され、商業・業務施設と一体となった景観が生み出されています。また、隣接する堺東行政ゾーンでは、市庁舎や裁判所などの公共建築物が建設されるなど、整然とした景観の形成が進んでいます。
- ・平成16年5月には堺東駅西地域が都市再生緊急整備地域に指定され、本市の玄関口にふさわしい複合市街地を形成することを目標とした整備が進められています。



堺東駅前



堺東行政ゾーン

○堺駅周辺

- ・堺駅前には、明るくにぎわいある商業空間と、内川・土居川や大浜の水辺空間、歴史空間が特徴です。
- ・市街地再開発事業の実施に伴い、都心の西の核として商業・業務施設が集積されるとともに、周辺にもマンションなどの立地が進みました。これにより、にぎわいや交流を感じさせる明るいイメージの景観形成が図られています。
- ・堺旧港や環濠都市の名残をとどめる内川・土居川などといった歴史資源が付近に位置しており、修景事業による景観形成が図られています。



高層化が進められた堺駅前



土居川の親水空間

○堺市駅周辺

- ・堺市駅前では商業施設、高層住宅や公共施設などを核とした市街地再開発事業が行われ、隣接する都市公園を含めた一体的な景観形成が図られ、拠点性が向上しました。

○三国ヶ丘駅周辺

- ・三国ヶ丘駅は JR 阪和線と南海高野線が交わる交通の結節点となっており、駅前広場を中心に近隣の生活を支える商業施設が立地する利便性の高い地区です。
- ・駅から北に延びるけやき通りの沿道では、緑豊かで落ち着いた



堺市駅前の再開発ビル

景観が形成されています。

- ・近年は、利便性に着目した高層住宅の建設が増加しています。

イ) 軸(道路・鉄道等)

○大小路筋

- ・大小路筋は、歩行者空間を重視したシンボルロードとして整備され、けやきの並木がよく育った、シンボル性の高い親しみやすい道路景観を形成しています。
- ・堺まつりの際には大パレードが行われるほか、通り沿いや周辺の商店街の夜景を彩るイルミネーションなどの取組みも進められており、四季折々のにぎわいの景観を創出しています。

○フェニックス通り(大阪中央環状線)

- ・フェニックス通りは、日本の道 100 選に選ばれた道路で、街路樹のフェニックスは、戦後復興のシンボルとして植樹されて以来約 60 年が経過して大きく育ち、特徴ある景観となっています。
- ・交通量の多い幹線道路であり、沿道型の商業施設などの立地も見られます。
- ・仁徳天皇陵古墳の北端を通過する部分では、古墳の緑豊かな墳丘部を望むことができます。

○大道筋

- ・大道筋の中央には路面電車が走っており、沿道には町家をはじめとするさまざまな景観資源が位置し、ゆったりとしたヒューマンスケールを感じられる景観が特徴です。

○国道 26 号

- ・北は大阪市方面、南は高石市方面へと接続する主要な幹線道路であり、交通量も多く、広幅員であることから、車での利用を中心とした沿道型の商業施設などの立地が目立ちます。また、北部では工場などの立地が見られます。

○けやき通り

- ・府道大阪中央環状線から大和高田線までの約 1km に約 170 本のけやきが植えられ、緑陰トンネルが形成されるなど、シンボリックなけやき並木による緑豊かな沿道景観が形成されています。

○御陵通り

- ・JR 阪和線の百舌鳥駅前から、大仙公園を抜けて大浜方面に至る道路で、特に大仙公園付近では緑豊かな沿道景観を形成しています。



三国ヶ丘駅前



大小路筋の美しいけやき並木



フェニックス通り



大道筋



国道 26 号



けやき通り

○海岸通り(堺狭山線)・大阪臨海線

- ・湾岸部を南北に貫通する道路で、阪神高速湾岸線の高架が平行して走り、沿道は工場などの立地が中心となっています。
- ・防風・防潮のための樹林帯が設置されており、緑豊かな沿道景観を形成しています。



緑豊かな御陵通りの景観



大阪臨海線

ウ)地域別の景観

【①都心】

- 堺東駅西地域では、商業、文化、交流機能などの強化・充実や高質な都市空間の創出により、本市の玄関口にふさわしい市街地形成の取組みが進められています。
- 市街地再開発事業の実施や公共施設の整備とともに高度利用が進み、商業・業務施設などを中心とした市街地が形成されています。
- 大坂夏の陣ののち行われた新たな町割が今日の堺のまちにも引き継がれており、堺環濠都市地域北部では、今も近世以降の伝統的な町家によるまちなみを見ることができます。
- 大道筋では、道路中央部を阪堺線が走り、その両側に色とりどりの花木が植栽されるなど、市民に親しまれている阪堺線の風格が感じられます。
- 内川・土居川においては、修景事業により遊歩道、植樹帯や護岸などが整備されました。
- 堺旧港では歴史を感じられる周辺整備が行われ、自然を感じられる憩いの空間が形成されています。出島漁港では市場が開設され、にぎわいの景観を創出しています。



1 堺東駅西地域



2 高層化が進められた堺駅前



3 伝統的な町家によるまちなみ



4 阪堺線と大道筋



5 土居川の親水空間



6 堺旧港

【②三宝町・海山町・緑町周辺】

- 大和川の河口に位置し、工場と住宅が共存するまちなみが特徴です。
- 三宝下水処理場のあじさいや、広々とした三宝公園のメタセコイヤの並木などが、地域のシンボリックな景観となっています。
- 大和川では、都市において自然の潤いを感じることができる貴重な水と緑のオープンスペースになっています。
- 工場などの建て替えの中で、すぐれた建築・環境デザインを取り入れる例が見られます。



1 工場と住宅のまちなみ



2 景観賞を受賞した店舗



3 三宝下水処理場のあじさい



4 大和川

【③西湊町・東湊町・出島町周辺】

- 港周辺の街道沿いに開けた歴史のあるまちで、戦前・戦後に木造家屋が密集しました。紀州街道、熊野街道沿いに歴史的な建築物が見られ、これらを活かしつつ、地域ぐるみで災害に強いまちづくりに取り組んでいます。



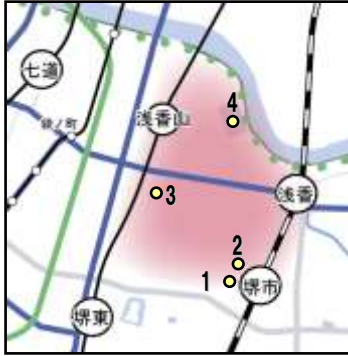
1 紀州街道



2 景観賞を受賞した業務ビル

【④浅香山町・田出井町・香ヶ丘町周辺】

- 熊野古道ゆかりの境王子跡の碑と街道などの歴史景観、大和川と西除川が合流する広々とした河川の景観や、東雲公園のバラ園、浅香山浄水場のツツジなどの景観が見られます。
- 堺市駅前では市街地再開発事業により建設された再開発ビルがランドマークとなっています。



1 堺市駅前の再開発ビル



2 東雲公園



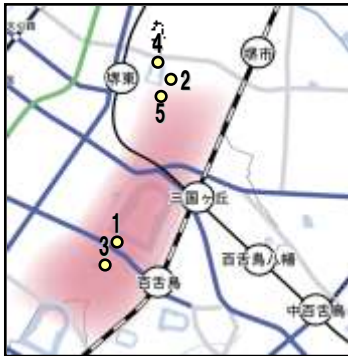
3 戦前に市街化したまちなみ



4 浅香山浄水場のツツジ

【⑤南三国ヶ丘町・百舌鳥夕雲町・大仙中町周辺】

- 世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群のうちの百舌鳥三陵(仁徳天皇陵古墳、履中天皇陵古墳、反正天皇陵古墳)と、その周辺に戦前に開発された住宅地が一体となって、緑豊かな環境を保っている地域です。
- 方違神社、けやき通り、旧天王貯水池、大仙公園など、シンボリックな歴史・自然景観が位置しています。
- 大仙風致地区が指定されており、緑豊かな環境が保全されています。
- 三国ヶ丘駅周辺では利便性を活かして集合住宅の立地が進んでいます。



1 仁徳天皇陵古墳



2 けやき通り



3 大仙公園



4 方違神社



5 旧天王貯水池

(2) 都心・周辺市街地景観の課題

都心・周辺市街地は、本市の固有の都市イメージを代表する地域として風格ある景観形成が求められる一方、中心市街地をはじめとする都心では多様な人々のにぎわい・交流を育んでいく必要があります。そのため都心では質の高い景観形成とにぎわい・交流を生み出す経済活動との両立を図ることが課題となります。

環濠都市の名残を現在に伝える水辺空間や伝統的な町家群、緑豊かな古墳群とその周囲に位置する良好な住宅地、街道沿いに位置する歴史的なまちなみなどの景観資源が多数あり、地域の魅力を磨きあげ、都市イメージの向上に寄与するよう積極的な景観形成を図っていくことが求められます。

また、駅周辺では交通利便性の向上に伴いマンションなどの建設が進んでいる事例も見られ、駅前の景観が大きく変わりつつある中で、周辺との調和が求められます。その一方で、市街化が急激に進んだ市街地では、住宅と商業施設・工場が混在する地域も見られ、双方の調和を図り、暮らしの場としての景観を向上させることもあわせて求められます。

地域別の景観形成の課題としては以下が挙げられます。

- ・ 堺東駅周辺の中心市街地では、乱雑な屋外広告物の掲出や自転車の放置などが景観上の課題となっています。また、広域的な都市圏の中核を担い、堺市全体の発展を牽引する活力を生み出す地域として、都市機能の更新にあわせて、本市の玄関口にふさわしい景観形成が求められています。
- ・ マンションなどの立地が進む駅前では、周辺との調和に配慮した景観形成が求められています。
- ・ 大小路筋、大道筋沿道では、周辺に点在する景観資源を活かした、にぎわいの感じられる景観形成が求められています。
- ・ 阪堺線の沿線では、車窓からの景観にも配慮するなど、歴史的なまちなみやまちなみにぎわいが感じられる景観形成が課題となっています。
- ・ 堺環濠都市地域においては、町家保存などの歴史的なまちなみ保全に配慮するとともに、都心のにぎわいと風格ある景観形成を進めていくことが課題となっています。
- ・ フェニックス通りでは、商業施設や業務施設、マンションなどの立地が見られ、沿道の持つ特徴を損なわないような都心にふさわしい質の高い沿道景観の形成が課題となっています。
- ・ 沿道型の商業施設などが並ぶ幹線道路沿いでは、屋外広告物がにぎわいを演出する反面、景観を阻害している事例も見られます。

(3) 都心・周辺市街地景観の方針

本市の玄関口にふさわしい、都市イメージを代表するような景観を創出するため、都心・周辺市街地景観の目標を次のように定めます。

古代から未来へ、風格とにぎわいある堺を代表する景観の継承と創造

そして、この目標を実現するための方針を次のように定めます。

1. 市街地整備が進み商業・業務施設などが集積している都心の拠点においては、本市の玄関口にふさわしいにぎわいの創出や風格のある景観形成を図り、都市イメージを代表する顔づくりをめざします。また、地域の拠点となる鉄道駅前においては、それぞれの地域特性を踏まえにぎわいの創出や周辺との調和をめざします。
2. 都心の軸となる幹線道路沿道においては、その歴史性やまちの顔としての役割を踏まえ、にぎわいと風格のある景観形成をめざします。その他の幹線道路沿道においては、節度あるデザインにより、まちなみの調和やまとまりに配慮した秩序ある景観形成をめざします。
3. 百舌鳥三陵とその周辺住宅地においては、歴史的遺産を保全するとともに、それらと一体となった良好な市街地景観の形成を図るため、古墳周辺の建築物について積極的な景観誘導を推進します。
4. 堺環濠都市地域とその周辺においては、歴史資源の保存や歴史的まちなみを保全するとともに、これらと調和したにぎわいのある景観形成をめざします。
5. 環濠都市の名残である内川・土居川の親水空間や、堺旧港周辺の開放的な水辺空間を活かした景観形成をめざします。
6. 工場と住宅が混在する地域では、工場に明るいイメージのデザインを取り入れ、暮らしと生産の場が共存する潤いある景観形成をめざします。
7. 大和川周辺においては、広大な水と緑のオープンスペースとの調和に配慮し、自然の潤いが感じられる景観形成を図ります。
8. 周辺環境との調和に留意しながら、地域に分布する緑・水系・ため池といった特徴的な自然景観の保全と活用を図ります。
9. 歴史的まちなみや建築物などの景観資源を地域のシンボルとして活かし、地域全体のよりよい景観づくりをめざします。